

(様式4)

食育パートナーシップ事業 ～働き盛り世代・子育て世代への食育推進～

健康福祉事務所名 龍野

1 食育推進状況

食育推進課題	・管内の食育事業が固定化傾向で、子育て世代や働きざかり世代を意識した効果的な事業展開の方策を探る。 ・関係機関、団体等の連携体制を充実させ、現計画の指標を推進する施策の検討と評価できるデータ集積を行う。
推進方策	・事業展開や評価方法の情報交換を行い、地域課題の共有と推進体制の強化を図る。 ・昨年度のモデル的取り組みについて、その後の対象者の行動変容状況を事業所健康管理等と共有し、実施方法の検証と効果的な実施方法の検討を行う。
進捗状況	・関係機関・団体が連携した推進体制の強化や今後の方策等を見出す機会となった。 ・モデル事業での取組結果をふまえ、地域食育推進の事業展開に活用する。

2 食育関係者

【市町行政】
食育担当主管課、 福祉/農業/環境/商工関係課、 教育委員会
【関係団体】
幼・保代表、いずみ会、子育てひろば、栄養士会、生活研究グループ、健康財団、商工会、給食施設協議会
【県行政】
農林水産振興事務所、 農業改良普及センター、 健康福祉事務所

3 食育パートナーシップ実践活動の概要

実施テーマ	働き盛り世代・子育て世代への食育推進		
対象及び参加者数	①モデル事業所従業員(10～60歳代) 39名 ②給食施設に勤務する職員(20～50歳代) 46名 ③関係機関・団体の食育指導者 101名		
課題及び目標	・20～40歳代(主に男性)は食生活および食に関連した健康上の問題が多いが、十分な関わりを持っていないことから、この世代の食育力強化を図る。 ・地域での食育推進活動の実践者を増やすため、関係機関・団体等へ指導媒体の紹介・提供や情報提供を行い、働きかける。		
事業内容	日時・場所	内容	講師・運営スタッフ
	H28. 8. 22、29、30 12:00～12:35 モデル事業所	(1)健康増進プログラムによる各自の生活習慣見直し (2)自己決定した実践項目の評価	事業所衛生管理者、地活栄養士、健康財団西播磨支部、龍野健福
	H28. 8. 25 14:00～16:30 学校厚生会西播活動センター	(1)働き盛り世代の実践活動支援 (2)指導媒体の提供	健康財団西播磨支部、龍野健福
	H28. 11. 29 14:00～16:30 宍粟防災センター	(1)講演「体験型食育のすすめ～百聞は一験にしかずとは!？」 (2)報告「モデル事業所における健康づくり活動」	子どもだけの料理教室主宰 大坪さやか氏 給食施設協議会、龍野健福
評価結果	働き盛り世代の食生活改善状況(個人別経年変化)では、「塩分」は改善した人が多い。最も見直しが多い項目は「野菜」で、1日に食べる野菜の量が2皿以下の人が25人(64%)であり、引き続き啓発が必要である。 食育推進指導者を対象とした講演は、福祉施設(老人、障害者、保育所)職員の満足度が高く、各施設における食育実践活動につながることを期待できる。		

食育パートナーシップ事業

～働き盛り世代・子育て世代への食育推進～

食育パートナーシップ会議

構成メンバー（関係機関・団体）

行政機関（市町・県）

- 【たつの市】健康課・児童福祉課・農林水産課・環境課・
商工観光課・教育委員会（学校教育課・
教育総務課・社会教育課）
- 【穴粟市】健康増進課・農業振興課
教育委員会（子ども未来課・学校教育課）
- 【太子町】さわやか健康課・社会福祉課・産業経済課・
生活環境課・教育委員会（管理課・社会教育課）
- 【佐用町】健康福祉課（健康増進室・社会福祉推進室・
子育て支援室）・農林振興課・商工観光課・教育委員会

関係団体

- 保育園、幼稚園、小学校
生活研究グループ
いずみ会
揖龍地域活動栄養士会
西播磨まちの子育てひろば
社会福祉協議会
給食施設協議会
モデル事業所
健康財団西播磨支部

【ねらい】

- ①今後の事業展開を円滑に行えるよう、県施策と各市町食育推進事業の調整を図る。
- ②各市町関係課の分野毎に、事業展開や評価方法の情報交換を行い、地域課題の共有化と推進体制の強化を図る。
- ③働き盛り世代・子育て世代に対するモデル的取組みを関係機関・団体の食育推進指導者と共有する。
- ④食育課題に取り組む地域の関係団体のボトムアップを図る。

【第1回】

日時：6月13日（月）11:00～12:00
参集者：市町食育主幹課、健康福祉事務所 7名
内容：(1)当所及び各市町の食育推進計画と今年度の取組について
(2)地域課題に対する事業展開方法、新たな連携団体と役割分担

【第2回】

日時：7月28日（水）14:00～16:00
参集者：上記関係機関 23名
内容：意見交換 (1)各市町における食育推進計画の推進状況及び課題
(2)食育関係機関・団体の連携事例の紹介
(3)地域課題の共有化と関係者の連携した取組み 等
情報提供 (1)健康増進プログラム
(2)当所における今年度の食育の取組み

【実践活動実施にかかる打ち合わせ】

日時：6月20日（月）13:30～14:30
参集者：モデル事業所、健康福祉事務所 3名
内容：(1)今年度実践活動の実施方法について
(2)実践状況の評価方法

食育パートナーシップ実践活動

【ねらい】

- ・働き盛り世代や子育て世代に食育の必要性の認識を高める。
- ・食育推進を地域に普及し実践者を増やすため、関係機関や団体等へ指導媒体の紹介・提供や情報提供を行い、働きかける。

第1回

【実施日】平成28年8月22日、29日、9月2日

【場 所】モデル事業所内 会議室

【内 容】健康増進プログラム結果説明

昨年度に自身が決定した実践項目の実施状況の確認と個別アドバイス



第2回

【対象・参加施設数】

給食施設の職員・指導者 46 施設

【実施日】平成28年8月25日

【場 所】学校厚生会西播活動センター

【内 容】媒体提供による生活改善の推進

- (1)働き盛り世代の実践活動支援
- (2)指導媒体の提供

第3回

【対象・参加者数】

関係機関・団体の食育指導者 101 人

【実施日】平成28年11月29日

【場 所】宍粟防災センター

【内 容】食育推進の指導者育成

- (1)講話「体験型食育のすすめ」
- (2)事例報告「モデル事業所における健康づくり活動」

～まとめ～

昨年度と同じ対象に健康増進プログラムでの前後比較と自己決定した実践行動の継続状況の確認を行ったが、「食生活」については改善した人と悪化した人はほぼ同数であり、一旦改善したものの再度悪化した人も数名みられたことから、対象者の行動変容を促し定着させるためには継続した意識啓発活動と双方向でのコミュニケーションが必要である。

今後は、今回の結果を関係機関・団体等に情報提供し、無関心層へのアプローチ方法の検討、男性を支える家庭に対する普及、市町食育推進計画への反映と具体的施策への展開など、体制整備を検討していきたい。